

令和5年度 第1回湖南省環境審議会 会議概要

●開催日時 令和5年8月17日（木） 14時00分～15時00分

●開催場所 湖南省役所東庁舎 3階 大会議室

●委員

鈴木一実委員（会長）、野呂昶委員（副会長）、来田博美委員、酒井輝義委員、櫻井敦委員、長谷川勇吉郎委員、森脇康行委員、山川修委員、森田幹雄委員、上西保委員、青木樹志委員、吉川弓子委員、青木純一委員

●事務局

生田市長、東峰部長、青木次長、田中課長、武田主幹、松浦主任主事、川上主事

●配布資料

資料1 環境基本計画中間見直し方針

資料2 第二次湖南省環境基本計画＜概要版＞

資料3 第二次湖南省環境基本計画について

資料4 市民アンケート調査票（案）

●会議録

1. 開会

市長あいさつ（省略）

委員紹介（省略）

2. 会長・副会長の選出

会長 鈴木一実委員、副会長 野呂昶委員を選出

鈴木会長あいさつ（省略）

3. 審議事項

事務局より、配布資料について確認した。

事務局より、資料1・環境基本計画中間見直し方針、資料2・第二次湖南省環境基本計画＜概要版＞、資料3・第二次湖南省環境基本計画について、資料4・市民アンケート調査表、について説明した。

（会長）

本日は、第二次湖南省環境基本計画の中間見直しに向けた視点を決めたいと思います。

その視点を持って、事務局が見直し案を作成し、次回の審議会でその内容について議論していただく形になります。

（委員）

現行計画を策定された時点では「低炭素」という言葉であったと思うが、いまは「脱炭素」に変わってきています。そういった状況の変化もみられるため、今回の中間見直しは良い機会だと思います。

脱炭素関連では滋賀県が「CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画（令和4年3月）」を策定し、2030年の温室効果ガス削減目標などが示されているが、湖南省においてもそのような目標値を本計画に盛り込んでいくのか、それに近い値を盛り込んでいくのかを教えてください。

（事務局）

湖南省における低炭素・脱炭素関連の個別計画としては、「第二次湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン（令和2年3月策定）」があります。近々プランの改定を予定しており、

そちらへの位置づけしていく想定であるため、本計画には盛り込まないこととしております。

しかしながら、県、庁内の個別計画とは整合を図りつつ、中間見直しを進めていきたいと考えております。

(委員)

中間見直しの視点②において、「様々な主体による～～～環境問題を「自分のこと」として捉える場や機会の提供を目指します」とありますが、具体的な動きの計画があれば、教えていただけますか。

(事務局)

次年度以降の動きはまだ定まっていませんが、今年度であれば、SDGs未来都市（湖南省が内閣府より選定されている）の関係で、環境学習など、甲西高校との連携を進めています。今後はさらに対象を広げていければと考えています。

(委員)

甲西高校の話は聞いています。他の学校（高校に限らず、小学校、中学校）でも展開することで、子どもたちの環境意識の変革から、湖南省の環境未来につながると思います。

(委員)

個人的には、現行計画の策定時より最も変化があった環境問題としては「地球温暖化」と思います。温暖化が生き物などの他の項目にも影響し、国の趨勢としては、2050年カーボンニュートラル、2030年に温室効果ガス排出量を約半減するという方向（2013年を基準として）になっています。

本計画の終了が2028年度であり、その際に2030年の温室効果ガス排出量が見えてくるのでしょうか。

地球温暖化対策にはすべての人が取組に関わらなければならないため、計画の中でも取組ごとの強弱があっても良いのかなと思います。

その取組の旗振りをするのが「行政」であり、その視点を持って中間見直しに取り組んでいただきたいと思います。

そのためには、現状の温室効果ガス排出量を把握する必要があり、そういった数値も整理し、計画の中に入れられないでしょうか。

(会長)

対応が難しい内容ではありますが、事務局で検討いただきたいと思います。

(会長)

アンケート調査はどのように配布し、想定回収はどのくらいを想定しているか、お教えいただけますか。

(事務局)

近々、郵送による配布を行う予定です。回答率は約40%を目安にしています。

また、市民の意見を拾う機会を増やすために、調査票を配布するとともに、SNSを活用した周知からWEBページでの回答方法も実施予定です。

(委員)

現行計画で指標（数値目標）を位置付けているが、この指標だけで計画が進捗しているかどうかとは言い難いため、計画の進捗状況を具体的に測るものとして、項目を増やしていただけないでしょうか。

また、コロナの関係で実績値が不明の指標もある、毎年ごとに実績値が分かる指標があると良いと思います。

(事務局)

「一(実績値不明)」はアンケート調査結果もあるため、現状、実績値不明となっておりますが、

近々実施するアンケート調査で把握する予定です。

(会長)

指標は重点プロジェクトに紐づいているというわけではなく、それぞれの基本目標の進捗状況を数値化しているという認識でよろしいでしょうか。

(事務局)

その認識のとおりです。

(会長)

数値は、客観的に分かりやすいものではあるが、それだけが独り歩きしてしまうという懸念もあります。また既に目標値を達成している項目もありますので、その辺りをしっかりと見極めて見直しにあたってほしいと思います。

(委員)

数値化することは難しいと思うが、重点プロジェクトにも一つずつは指標があった方がよいのではないのでしょうか。

(事務局)

重点プロジェクトについても指標を検討したいと思います。

(委員)

滋賀県の計画との整合性として、県の環境総合計画は平成31年度に策定であるが、計画期間は令和12年度までとなっており、湖南省の計画期間、中間見直しのタイミングとは若干ズレる形となってしまいます。県の環境総合計画については、来年度見直すかどうかを現在検討中であり、その点をあらかじめご承知いただきたいと思います。

4. その他

(事務局)

今後のスケジュールとして、本日のご意見を踏まえながら、8月、9月と調査検討を進め、次回の委員会では計画の見直し案をお示ししていきたいと思います。

また市民の意向を把握するべく、アンケート調査を近々実施予定です。

第2回、第3回の審議会について、皆様お集りのこの場で日程を決めたいと思います。

事務局の都合としては、第2回を11月2日(木)午後、第3回を2024年1月30日(火)午後でお願いしたいと思いますが、委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

(各委員)

了承。

(事務局)

それでは、次回は11月2日(木)午後から、第3回は1月30日(火)午後からで、委員の皆様、ご出席のほど、よろしく願いいたします。

また、会議が近づいてまいりましたら、ご連絡差し上げたいと思います。

3. 閉会

(事務局)

以上を持ちまして、「令和5年度第1回湖南省環境審議会」を閉会させていただきます。
大変疲れ様でした。次回も何卒宜しくお願い致します。